

# NPO 市民団体と学生との交流会 第4弾

## “ボランティア”の是非について考えてみよう

～皆さんと考える“ボランティア”の意義・必要性～



絵本の読み聞かせのボランティア



東日本大震災でのボランティアセンター(気仙沼)

ゲスト：<sup>ゆうきけんじ</sup>結城健司さん

復興ボランティア支援センターやまがた(山形市松山三丁目 / <https://kizuna.yamagata1.jp/>)

7月11日(金)5コマ目(16時20分～17時50分) 人文社会科学部102教室

災害時における「災害ボランティア」や地域の「清掃ボランティア」、最近では貧困世帯の子供達を対象とした「子ども食堂」など、ボランティア活動は様々な形でおこなわれており、『地域になくはない存在』として注目されている一面があります。

一方、広い意味でのボランティア活動である町内会や PTA などにおいては、少子高齢化や家族構成の変化、働き方の多様化などで、入会を拒む人や、存在そのものに疑問を持つ人たちも増えつつあり、その“あり方”について様々な議論がなされています。

そこで今回は、「復興ボランティア支援センターやまがた」で災害ボランティア支援をおこなわれている結城健司さんの経験を元に、広い意味での「ボランティア」について考えるとともに、「ボランティアへの意識」「ボランティアの意義」「そもそもボランティア頼りの社会ってどうなのか？」などについて意見を交わす機会にしたいと思います。予約不要、参加費無料です。

なお本交流会は人文社会科学部の講義「公共政策・地域課題実践演習A2」の一環としておこなうものですが、未履修の方、他学部の学生、教員の方も大歓迎です。

担当教員：松本邦彦／柿崎慎也(人文社会科学部 地域公共政策コース / 電話 023-628-4250 松本研究室)